取扱説明書

HITACHI
Inspire the Next

家庭用バイオ式生ごみ処理機

BGD-V18形(屋内外兼用タイプ)



このたびは家庭用バイオ式生ごみ処理機をお買い上げいただき、まことにありがとうございました。

この取扱説明書をよくお読みになり、正しくご使用ください。
特に「安全上のご注意」は必ずお読みください。

お読みになったあとは、保証書とともに大切に保管してください。

安全上のご注意

お使いになる人や、ほかの人への危害、財産への損害を未然に防止するため、お守りいただくことを、次のように説明しています。また、本文中の注意事項についてもよくお読みのうえ、正しくお使いください。

■ここに示した注記事項は

表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

⚠警告	この表示の欄は、「死亡または重傷を負うことが想定される」内容です。
⚠注意	この表示の欄は、「傷害を負うことが想定されるか、または物的損害の発生が想定される」内容です。

絵表示の例
「警告や注意を促す」内容のものです。
してはいけない「禁止」内容のものです。
実行していただく「指示」内容のものです。

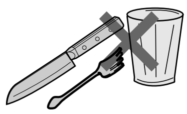
⚠警　告

酒類やアルコール分を含むものは入れない(酒かす・アルコール漬けの果実・薬草など)
多量の柑橘類(みかん・オレンジなど)の皮を入れない
食用油・油脂類やそれらを含むものを多量に入れない
殺虫剤や消臭剤などの薬品類を吹きかけたり、混入したものは入れない
本体や処理槽に殺虫剤や消臭剤などの薬品類を吹きかけたり、入れたりしない

- 爆発や火災・引火、自然発火の恐れがあります。

下記の処理槽を傷つけるような硬い物は投入しない

- **包丁などの刃物類やフォーク・スプーンなどの金属食器類、ガラス・陶磁器・金属類・プラスチックなど**
- **硬い貝殻や梅干し、桃などの種・クルミなど**
- **牛・豚・大きな魚などの大きな骨**
- **食材の包装材など(輪ゴム・針金・中ぶた・ビニール袋など)**
- **アルミホイルやつまようじ・割り箸など**

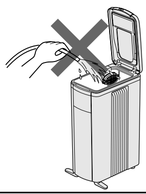


- 処理槽に穴が開き処理物が漏れ出し、火災や感電の原因になります。

絶対に分解したり修理・改造を行わない

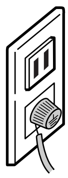
- 火災・感電・けがの原因になります。
- 修理は、販売店または日立の「ご相談窓口」にお問い合わせください。

本体各部に直接水をかけない また、処理槽の内部は水洗いしない



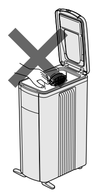
- 漏電や感電の原因になります。

アース線は確実に取り付ける ☞ 20



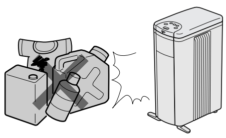
- アース線を取り付けないと漏電のとき感電することがあります。
  アースの取り付けは、必ず電気工事店または販売店にご相談ください。

ふたを開けても、かくはん棒が回転を続ける場合は、直ちに使用を中止する



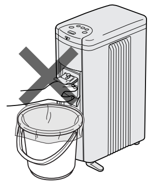
- 修理を依頼してください。
  けがの原因になります。

電池類・石油類・灯油・ベンジンなど、引火・爆発するものは絶対に入れない



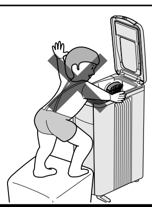
- 爆発や火災・引火の恐れがあります。

処理物の取出運転中は取出口の中に手などを入れない



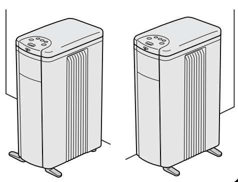
- けがの原因になります。

幼児に処理槽の中をのぞかせない また、生ごみ処理機の近くに台を置かない



- 落ちてけがをすることがあります。

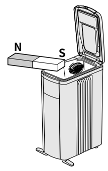
安定した床面に、付属の補助脚2個をセットして据え付ける



- 補助脚を付けないと転倒の恐れがあります。

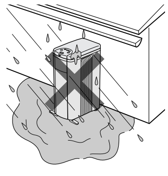
⚠ 警　告

ふたを開けたとき、本体の上部に磁石を近づけない



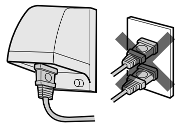
● 内部のふたスイッチが働き、かくはん棒が回転を始め、けがをすることがあります。

屋外に据え付ける場合は、直接雨のかかる場所や、雨水がたまり水浸しになるような場所には据え付けない



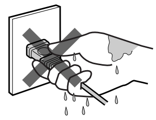
● 感電や漏電による火災の原因になります。

屋外に据え付ける場合は、交流100Vの防雨形コンセントを使う



● コンセントに雨水がかかると漏電の原因になります。

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない

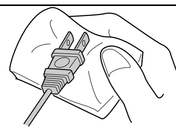


● 感電やけがをすることがあります。

処理槽の中に手を入れるときは、電源プラグを抜く

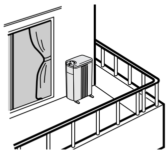
● けがをすることがあります。

電源プラグは、刃および刃の取り付け面にほこりが付着している場合はよくふく



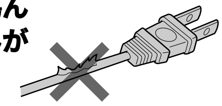
● 火災の原因になります。

ベランダに据え付ける場合は、本体を手すり側に据え付けない



● 落下・転倒やお子様が踏み台にして転落する原因になります。

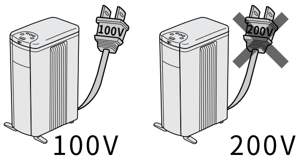
電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しない



● 感電・ショート・発火の原因になります。

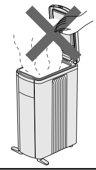
⚠ 注　意

交流100V以外では使用しない



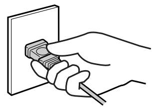
● 火災・感電の原因になることがあります。

運転停止直後、ふたの裏や処理槽内壁が高温になっているので触らない



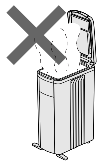
● やけどをする恐れがあります。

電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに先端の電源プラグを持って引き抜く



● 感電やショートして発火の原因になることがあります。

運転中はふたを開けない



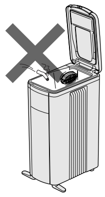
● 処理中の熱い蒸気が出るので、やけどをする恐れがあります。

運転中は「ふたロックつまみ」をロック方向にスライドさせる



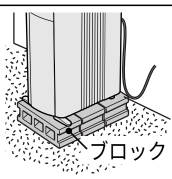
● 不用意に「オープンボタン」に触れた場合、ふたが開いて熱い蒸気でやけどをする恐れがあります。

火気の近くに設置しない
また、火のついたたばこなどを投入しない



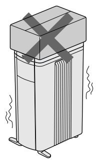
● 本体の変形によるショート・発火の原因になります。

屋外に据え付けるときは、土や芝生の上に置かない
置く場合は、ブロックなどを敷く



● 感電・ショート・発火の原因になることがあります。

生ごみ処理機の上にのぼったり、重いものを載せたりしない



● 変形・破損・転倒によりけがをする恐れがあります。

電源コードを傷つけたり、破損したり、無理に曲げたり、ひっぱったり、ねじったり、たばねたりしない
また、重いものを載せたり、挟み込んだり、加工したりしない

● 電源コードが破損し、火災・感電の原因になることがあります。

背面は壁から5cm以上離し、左右どちらかの側面を開放する

● 排気の流れが悪くなり、内部温度が上がったり、壁が変色する原因になることがあります。

じゅうたんの上に直接設置しない

● じゅうたんの変質、変色を招くことがあります。別売りのトレイをおすすめします。

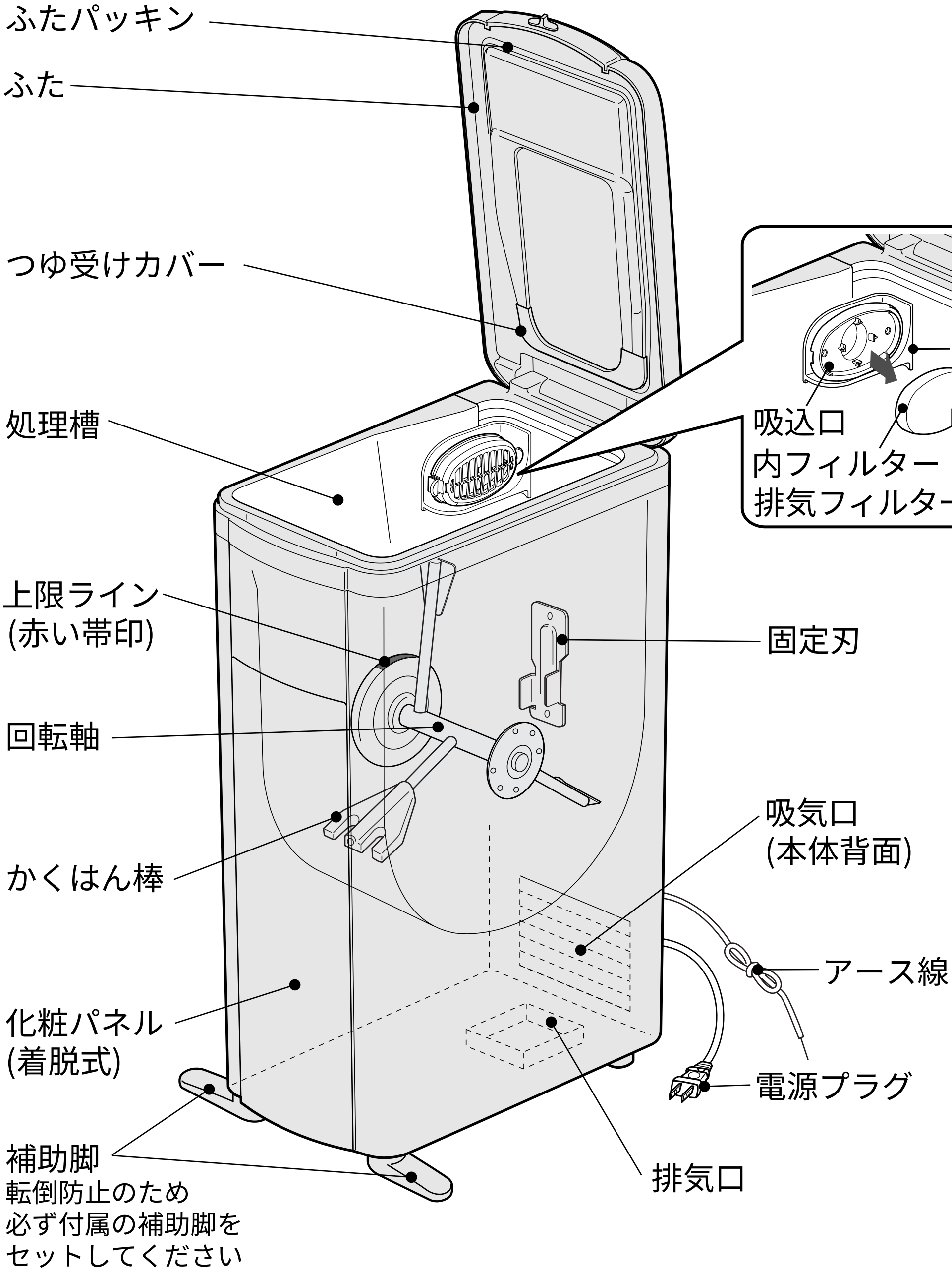
長期間ご使用にならないときは、電源プラグをコンセントから抜く

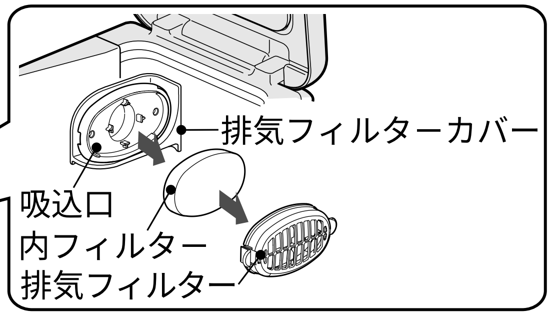
● 絶縁劣化による感電や漏電火災の原因になることがあります。

排気フィルターおよび内フィルターは確実に取り付ける ☞ 16、17

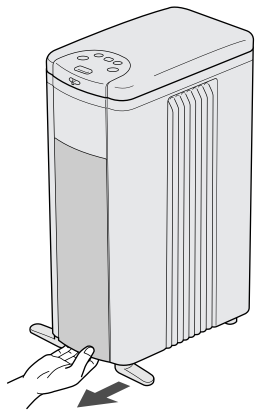
● 確実に取り付けなければ、処理物が吸込口から本体内へ入り込み、故障の原因になります。

各部のなまえ





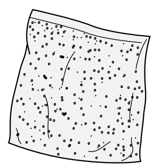
(化粧パネルを外すとき)



処理物を取り出すときは、下端に指をかけ、手前に引っ張ると化粧パネルが外れます。

付　属　品 （処理槽内に収納してありますので、中身を取り出してから運転の準備をしてください）

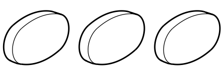
- 高温バイオ剤 1袋
(約1.5L)



ご注意

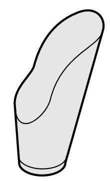
- 製品の輸送中に、袋がやぶれて中身がもれる場合がありますが支障ありません。そのままP7の「ご使用前の準備」にかかってください。

- 内フィルター 3個

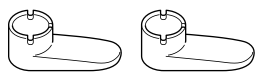


あらかじめ本体に1個取り付けてあります。
同梱の2個は交換用です。

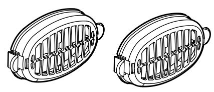
- スコップ 1個



- 補助脚 2個

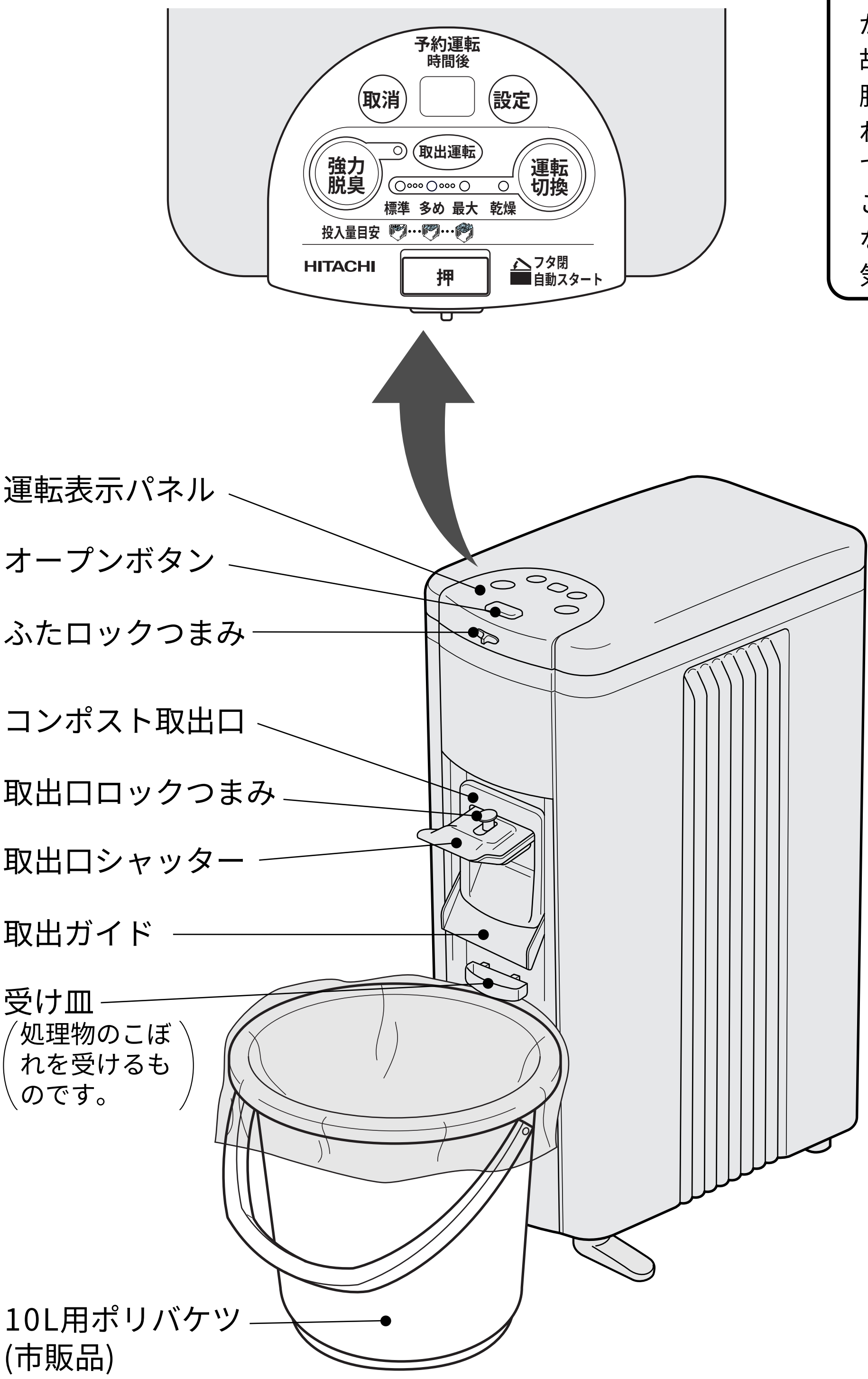


- 排気フィルター 2個



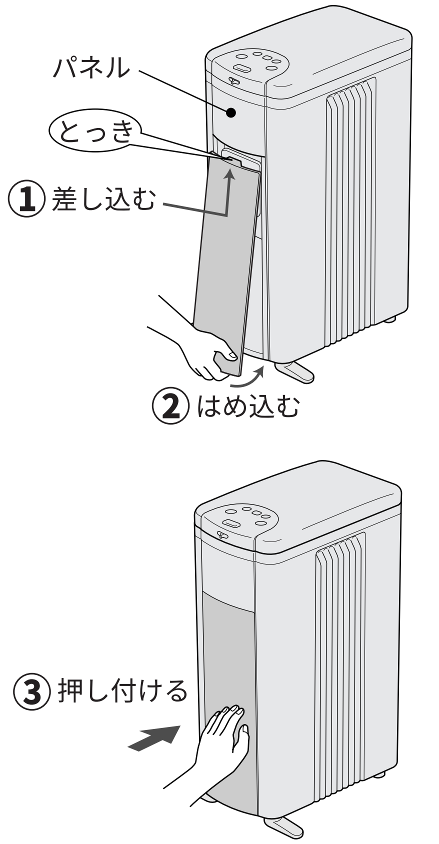
あらかじめ本体に1個取り付けてあります。
同梱の1個は交換用です。

〔運転表示パネル〕☞10、11



ご使用はじめの処理運転中に、オイルが焼けるようなニオイが発生しますが、故障ではありません。
脱臭装置の金属部品や断熱材が加熱されたとき、初期にのみ発生するニオイです。
このニオイは、2～3日のご使用でなくなります。
気になる場合は換気してください。

(化粧パネルを装着するとき)



化粧パネルの上端のとっきをパネルの下側に差し込み、全体を押し付けます。爪が ”パチッ ”と音がするまで押し付け、すき間がなくなるようにしてください。

装　置　の　動　作

- ふたを開けた状態で電源プラグをコンセントに差し込むと、ピッと鳴り「標準」ランプが点灯して通電状態となります。
- 通電状態でふたを閉めると、正転約2分、休止約30秒、逆転30秒、休止30秒のかくはんサイクルが自動的に繰り返します。
- ふたを閉めた状態で電源プラグをコンセントに差し込むと、ピッと鳴り、「標準」ランプが点灯し、表示が「00」になってから自動的にかくはん運転を開始します。
- かくはん運転中にふたを開けると、かくはん運転が休止します。
- 外気温度に応じて、保温ヒーターが働きバイオ処理を助けます。
- 運転時間は、
  「標準」コース：処理工程約4.5時間＋冷却工程約1時間
  「多め」コース：処理工程約7.0時間＋冷却工程約1時間
  「最大」コース：処理工程約8.5時間＋冷却工程約1時間
  「乾燥」コース：処理工程約 12時間＋冷却工程約1時間
  になります。☞11

据え付けのしかた

据え付け場所を選ぶ

■換気扇などがある、換気のよいところに据え付けてください。
ふたを開けたとき、ニオイや水蒸気が出ます。また、生ごみ処理中の排気は水蒸気や多少のニオイがあり、こもると強く感じることがあります。

■ガスコンロや石油ストーブなど火気の近くには据え付けないでください。
外装部品に合成樹脂を使用しておりますので、熱変形する恐れがあります。

■背面と側面を壁から5cm以上離せる場所を選択してください。
壁にピッタリとつけると排気の流れが悪くなり、過熱による故障の原因になったり、排気中の水蒸気などで、壁が変色する原因になります。

■左右どちらかの側面を開放できる場所を選択してください。
どちらかの側面を開放しないと排気や冷却の空気の流れが悪くなり、過熱による故障の原因になります。

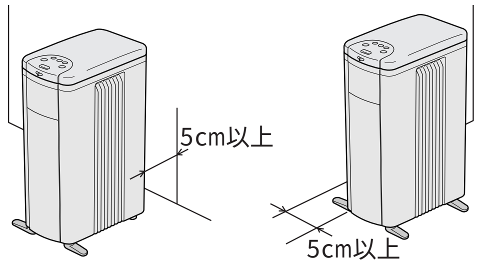
■周囲温度が-10°C以上、40°C以下の範囲の場所を選択してください。
上記の範囲外で使用すると、処理槽の中の処理物が凍結したり、過熱による故障の原因になります。

据え付ける

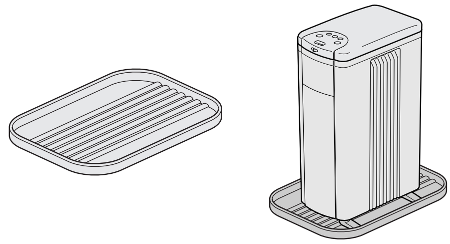
■アース線は、必ず取り付けてください。
アース線の取り付けについては「アース線の取り付け」☞20をご参照ください。

■転倒防止のため、必ず付属の補助脚を前面の脚に2個または側面の脚に2個、装着して据え付けてください。

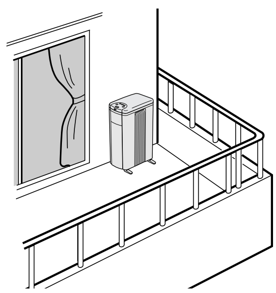
■背面と側面を壁から5cm以上離し、左右どちらかの側面を開放し据え付けてください。



■別売りのトレイをおすすめします。
生ごみを処理したときに発生する本体底面からの水蒸気や熱が直接床面に接触するのを防ぎます。また、床面がじゅうたんの場合、排気による変質・変色を抑制することができます。



ベランダや軒下など屋外へ据え付ける場合



■軒下、出窓の下、勝手口の近くなど、雨ざらしにならないところを選んで据え付けてください。
感電や漏電の原因になる恐れがあります。

■ベランダに据え付ける場合は、本体を手すり側に据え付けないでください。
落下、転倒やお子様が踏み台にして転落する原因になる恐れがあります。

■直射日光の当たる場所は避けてください。
運転表示パネルの紫外線劣化の原因になる恐れがあります。

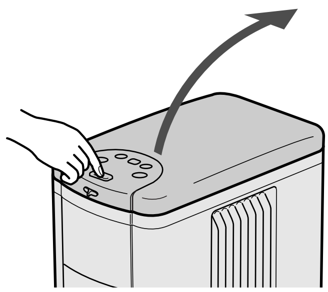
■強い風が吹き付けるところに据え付ける場合や、倒れる恐れがある場合は、バンドで固定してください。

■避難器具、避難ハッチや消防隊進入の障害にならない場所に据え付けてください。

ご使用前の準備

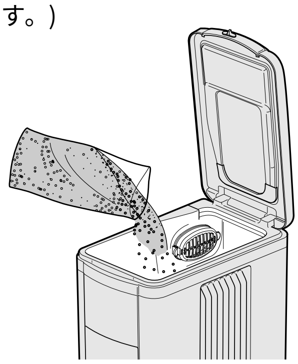
1 ふたを開け、高温バイオ剤を入れる

①「ふたロックつまみ」を左方向(解除)に動かし、オープンボタンを押して、開けてください。



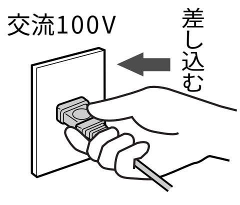
② 処理槽内に収納してある付属品をすべて取り出してください。

③ ポリ袋を開封して、全部入れます。高温バイオ剤は、ゆっくり入れてください。(勢いよく入れると、ホコリがたちます。)

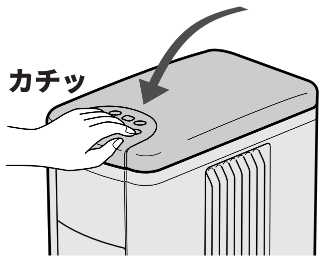


2 プラグを差し込み、ふたを閉める

① 電源プラグを差し込むと、ピッと鳴り、「標準」ランプが点灯します。



② ふたを閉めて、「カチッ」と音がするまで、しっかりと押してください。

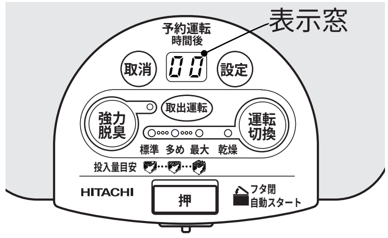


ふたを閉めると処理運転が始まります。

③「ふたロックつまみ」を右方向(ロック)に動かして、ふたをロックしてください。

- ふたロックつまみをロック側にした状態でふたを閉めないでください。故障の原因になります。

3 予約運転を設定し、運転コースを選ぶ



① 予約運転を行う場合は、処理運転が停止(表示窓が 00)していることを確認してください。
表示が 00 になっていないときは、(取消) ボタンを押して 00 にしてください。 予約方法 ☞ 11,12

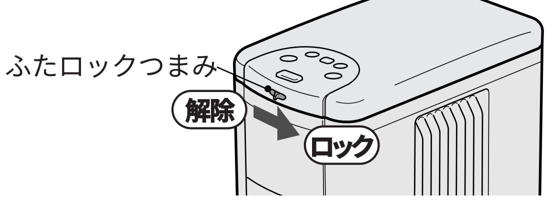
② 予約運転をしない場合は、表示窓が 00 の状態で、ご使用ください。 予約をしない方法 ☞ 13

- ふたを開閉のたびに処理運転をします。

③ 運転コースは、生ごみの投入量によって、(運転切換) ボタンで選択してください。
運転コースの切り換え ☞ 11

ご注意 ふたを閉じているとき「ふたロックつまみ」はつねに、右方向(ロック)にしてください。

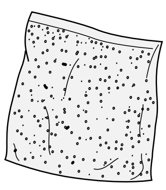
- 不用意にオープンボタンに触れた場合、ふたが開いてけがをする恐れがあります。
- 子供、幼児がおられる場合は特にご注意ください。



ご注意 バイオ処理維持のため、電源プラグはコンセントに差し込んだままにしておいてください。
数日の旅行などでご使用にならない場合も、電源プラグを差し込んだままで結構です。
留守対応機能が働き、自動的に最小限の維持運転に切り替わります。

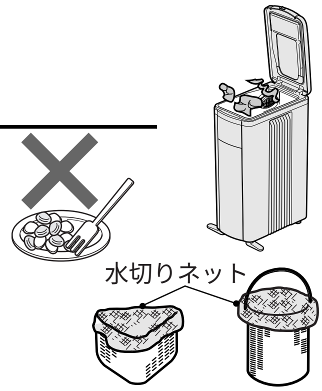
■高温バイオ剤について

- コーヒーがらをベースに活性炭などを加えて加工したもので、微生物の育成に必要な「水分」「空気」「温度」などを適切に保つ微生物の住家です。
- 出荷時に、生ごみを分解するバイオ菌をあらかじめ混ぜてありますので、使用開始から分解処理が行われます。
- 開封時に、黒い粒と微粉末がよく混ざり合わず片寄っている場合がありますが、異常ではありません。そのままお使いください。



使用上のご注意

1 分別して入れる



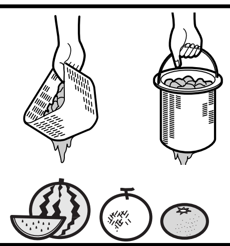
■投入できるものと、投入できないものがありますので、あらかじめ十分に分別してください。☞9

■水切りネットやポリ袋は投入しないでください。

- かくはん棒にからまって、処理運転が停止する原因になります。

ご注意 トウモロコシなどを原料とした、生分解性の水切りネットも投入できません。

2 よく水切りを行う



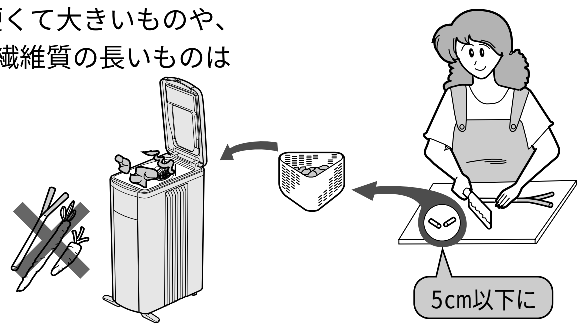
■生ごみを投入するときは、十分に水切りをしてください。

- 生ごみの水分が多いと処理に時間がかかり、処理物のべたつきや、ニオイが強くなる原因になります。
- メロン、スイカ、グレープフルーツなどの水分の多い生ごみを一度に大量に投入すると、処理物がべたつき、処理が遅くなる原因になります。

3 硬くて大きいものや長いものは小さくする

■グレープフルーツの皮、ごぼう、とうもろこしのしんなど硬くて大きいものや、とうもろこしの皮、たけのこの皮、長ねぎの白根など丈夫な繊維質の長いものは5cm以下に小さくしてください。

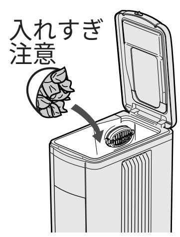
- かくはん棒の回転を妨げてかくはん異常の原因になります。



■ごはん類、めん類などでんぷん質のものは、よくほぐして入れてください。

- だんご状に固まる原因になります。

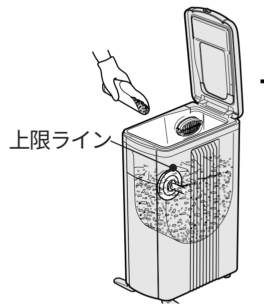
4 入れ過ぎない〔連続処理の場合最大約1.3kg/日〕



■1日に投入できる生ごみの量は、「標準」コースで0.7kg以下、「多め」コースで1.0kg以下、「最大」コースで1.3kg以下です。(「最大」コースで、週の平均投入量が一日1.3kgを超えなければ、週1回に限り1.8kgの投入が可能です。)

- 一般的な生ごみ用三角コーナーで、0.7kg は8分目、1.0kg はすりきり、1.3kg は1杯強ですので、目安にしてください。
- 設定した運転コースの、生ごみの量を超えて処理すると、処理物のべたつきや、ニオイが強くなる原因になります。
- 1日に約1.3kg以内であれば、2〜3回に分けて投入してもかまいません。

5 処理物の取り出しはお早めに



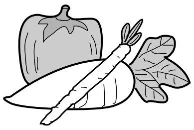
■処理槽内に処理物がたまってくると、土状になり、微生物が住みにくくなってべとついたり、処理槽の壁面が汚れ、固まりがへばりつくようになります。また、かくはん停止が起こりやすくなります。

- 赤い上限ラインが目安ですが、こまめに、早めに取り出してください。
- 少量の取り出しには、付属のスコップをご利用ください。

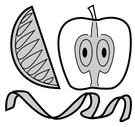
投入できるもの・投入できないもの

投入できるもの(人が食べられるものであれば処理可能です)

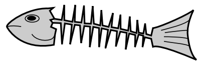
- 野菜くず



- 果物やとうもろこしの皮やしん

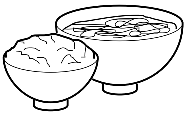


- 魚の皮や骨

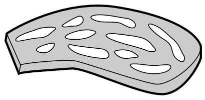


(魚やイカの内臓を大量に入れると処理物に臭いが付くことがあります。)

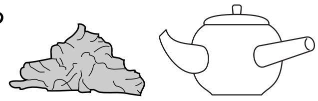
- ごはん・めん類



- 肉類

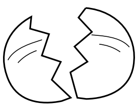


- 茶がら



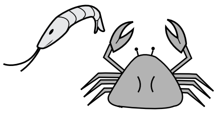
少量しか投入できないもの(1日の投入量の目安)

- 卵の殻



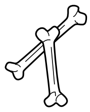
5個以下
(約50g)

- カニ、エビの殻



カニ：約1杯
エビ：約12匹
(約300g)

- 鶏の骨



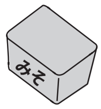
手羽先相当
約5本以下
(約70g)

- 枝豆、バナナの皮など繊維の多いもの



一人前相当
(約50g)

- みそや納豆など粘性のある発酵食品



おたま1杯分
(約100g)

- ジャム・蜂蜜など糖分の多い粘性のある食品



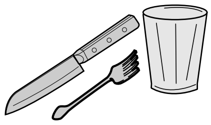
おたま1杯分
(約100g)

※連続して投入しますと運転を妨げたり、異常音発生の原因になります。

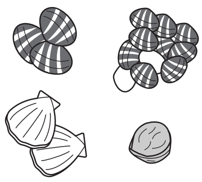
投入できないもの

⚠警　告

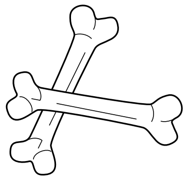
処理槽を傷つけるような硬い物は投入しないでください。
- 処理槽に穴があき、処理物が漏れ出し火災や感電の原因になります。



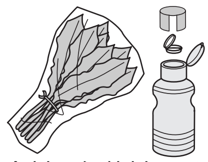
包丁などの刃物類やフォーク・スプーンなどの金属食器類
ガラス・陶磁器・金属類・プラスチックなど



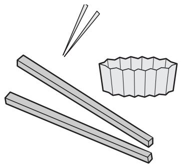
硬い貝殻や梅干し、桃などの種、クルミなど



大きな骨
(牛・豚・大きな魚など)



食材の包装材など
(輪ゴム・針金・中ぶた・ビニール袋など)



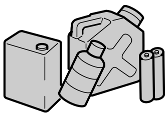
アルミホイルやつまようじ・割り箸など

⚠警　告

処理槽内に、次の物は投入しないでください。
- 爆発や火災・引火、自然発火の原因になります。



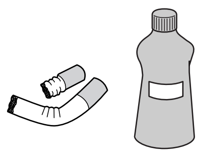
酒類やアルコールを含むもの
(酒かす・アルコール漬けの果実・薬草など)



乾電池・石油類・灯油・ベンジンなど

- 殺虫剤や消臭剤などの薬品類を吹きかけたり、混入させたもの
- 多量の柑橘類の皮
  (みかん・オレンジなど)
- 多量の食用油、多量の油脂類やそれらを多く含むもの

高温バイオ菌の生育を妨げるもの



たばこ・洗剤・石けん・化粧品・シャンプー・化学薬品・化学合成物質など

ご注意

- **牛乳、ジュース、しょうゆ、ドレッシング、味噌汁、油などは直接投入しないでください。
  水分が多くなり、処理物がべたつく原因になります。**
- **大きくて硬い果物(パイナップルの皮など)、梅干し、桃などの種は投入しないでください。
  回転するかくはん棒に引っかかり、大きな音のする原因となったり、かくはん運転を妨げ、回転軸ロックの原因となります。**
- **廃油処理剤で固めた油も投入しないでください。
  酸化熱による自然発火の恐れがあります。**
- **凍らせた食品は、解凍してから投入してください。
  かくはん運転を妨げる原因となります。**

運転表示パネルの見かたと

■表示窓の表示内容

●運転状態を表示します。

00 ：処理運転停止状態です。

01 ～ 20 ：予約運転が設定されています。
(時間経過とともに表示数字が減ってゆき「0」になると処理運転を開始します。)

⊣⊢ ：処理運転中です。(処理工程と冷却工程の間表示します。)

[ ] ：まぶし運転中です。(約5分間、かくはんを行います。) ☞ 12

JU ：取出し運転中です。 ☞ 14

L J ：取出口シャッターが開いています。 ☞ 15

- - ：留守対応機能の動作中です。 ☞ 20

●以下の表示がでたら該当ページの処置をしてください。

C1 かくはんロックサイン ：かくはん異常で運転停止しています。 ☞ 19

C2 シャッターロック確認サイン：取出口シャッターが開いてから、10分間経過しました。 ☞ 15、19

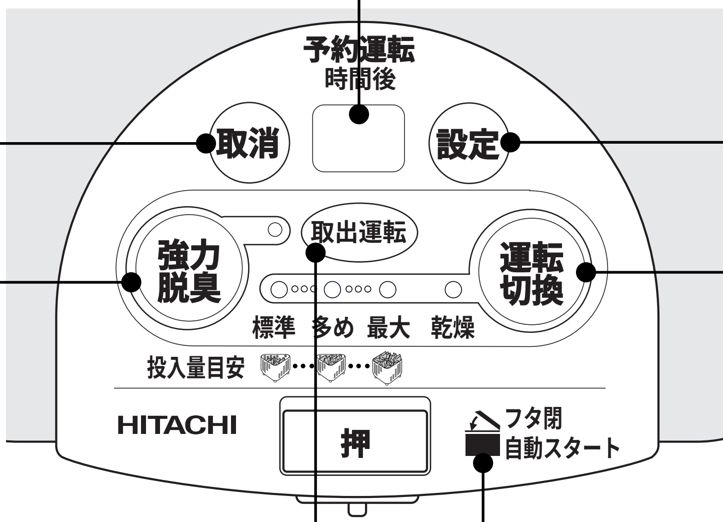
C3 フィルターお掃除サイン ：排気フィルターのお掃除をしてください。 ☞ 16、19

C4 脱臭異常温度検知サイン ：脱臭装置の異常過熱で運転停止しています。 ☞ 19

F0 ～ F3 ：故障の表示です。
「運転表示窓にこの表示がでたときは」を参照し、確認してください。 ☞ 19

F3 が点滅したときは

排気フィルターと内フィルターが極度に目詰りしたときに表示する場合があります。「運転表示窓にこの表示がでたときは」を参照し、確認してください。 ☞ 19



■取消

- 処理運転中に押すと、運転が停止します。
(表示窓の表示は 00 になります。)
- 予約運転が設定されているときに押すと、予約運転を取消します。(表示窓の表示は 00 になります。)

■強力脱臭 ☞ 14

- 強力脱臭を設定できます。
- このボタンを押すと、強力脱臭が設定されランプが点灯します。もう一度ボタンを押すと解除されます。
- ニオイが気になり、強い脱臭を行なうとき強力脱臭を設定してください。
- 脱臭装置は、処理運転中の排気のニオイを脱臭する装置です。処理槽の中のニオイを脱臭するものではありません。

■取出運転

取出口シャッターを開くと、取出運転ができます。
処理物を取り出すときに使います。 ☞ 14、15

予約運転の設定のないとき(表示窓が 00 のとき)は、ふたの開閉をすると、処理運転がスタートします。

■予約運転の設定

毎日決まった時間に、自動的に処理運転を開始することができます。今から何時間後に処理運転を開始するかを設定します。(設定)ボタンを押すごとに「01」から始まり「02」・・・・・・「20」時間後まで予約することができます。

●予約運転の設定をしないとふたの開閉のたびに処理運転をします。

＜例＞午前8:00に、午後10:00に処理運転の予約をする場合

①今から処理運転を開始するまでの時間を計算します。午後10:00は14時間後です。

② (設定) ボタンを押して [14] を表示させます。

予約運転 時間後
14

③これで予約設定は終了です。

以後、処理運転を開始するまでの残時間を、1時間ごとに表示します。

····→ [10] → [09] ····→ [01] → 処理運転開始 ([-|-])

④予約した時間になると、処理運転を開始します。(→このときの表示は [-|-])

- 処理運転中([-|-])は、予約運転の設定ができません。予約運転の設定や予約運転時間を変更する場合は (取消) ボタンを押して処理運転を停止してから設定してください。
- 予約運転を設定した状態で、処理運転を開始するまでの間は、いつでも予約運転時間を変更することができます。
- 24時間タイマーが内蔵されていますので、一度、お好みの時間に予約すると、 (取消) ボタンを押さない限り、毎日同じ時間に処理運転を行うことができます。(上記の例ですと、毎日午後10:00に処理運転を開始します。)
- 停電や電源プラグをコンセントから抜くと、予約運転の設定は消えてしまいます。再度、予約運転の設定をしてください。

■運転コースの切り換え

- 処理運転停止中(表示が [00])に、(運転切換) ボタンを押すごとに「標準」～「乾燥」に切り替わります。

  ● 標準 → ○ 多め → ○ 最大 → ○ 乾燥 （→標準に戻る）

- 処理運転中(表示が [-|-])は、(運転切換) ボタンを押すごとに「標準」～「最大」に切り替わります。「乾燥」運転には変更できません。

  ● 標準 → ○ 多め → ○ 最大 （→標準に戻る）　○ 乾燥

- 「乾燥」運転をするときは、(取消) ボタンを押して運転を停止(表示は [00])して、(運転切換) ボタンを押して「乾燥」に切り替え、ふたを開閉してください。「乾燥」運転が開始します。
- 生ごみの種類や水切りの状態によって、処理槽内の処理物の水分が多くなったり、パサパサに乾燥したりしますので、運転コースを使い分けてください。

  「標準」…生ごみ0.1～0.7kg/日(おおよそ　三角コーナー　8分目)
  　　　　処理運転時間は約5.5時間です。(処理工程約4.5時間+冷却工程1時間)

  「多め」…生ごみ0.7～1.0kg/日(おおよそ　三角コーナー　すりきり)
  　　　　処理運転時間は約8時間です。(処理工程約7時間+冷却工程1時間)

  「最大」…生ごみ1.0～1.3kg/日(おおよそ　三角コーナー　1杯強)
  　　　　処理運転時間は約9.5時間です。(処理工程約8.5時間+冷却工程1時間)

  「乾燥」…取出運転の前や、処理物がべたついたときに使用します。
  　　　　予約運転が設定されているときには使用できません。
  　　　　処理運転時間は約13時間です。(処理工程約12時間+冷却工程1時間)

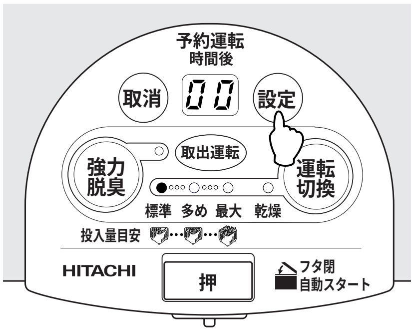
  ※処理運転は、処理槽の中を加熱し生ごみを分解処理する処理工程と、処理工程終了後の処理槽の温度を下げる冷却工程を行ないます。

- 生ごみの処理をより効果的に行うために、6回運転させたあと、1回は自動的に1つ長い時間の運転コースで処理運転を行います。(標準→多め、多め→最大、最大→乾燥コース)

使いかた (1)予約運転をする場合

1 運転開始時間を予約する

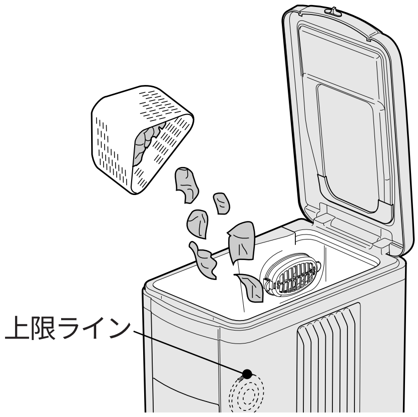
- 今から何時間後に運転を始めるか決めて、設定ボタンを押して表示窓上に時間を設定します。☞ 11
- 生ごみの量に合わせて、「標準」、「多め」または「最大」を選択してください。



■ (取消) ボタンを押して予約を解除しない限り、毎日同じ時間に処理運転を行うことができます。

2 ふたを開け、生ごみを投入する

「ふたロックつまみ」を左方向(解除)に動かし、オープンボタンを押して、ふたを開け、生ごみを投入します。



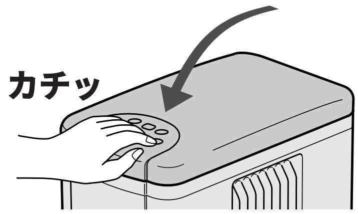
ご注意

- 処理物が上限ライン付近まで増えてきた場合は、処理物の取出運転を行ってください。

☞ 14、15

3 ふたを閉める

- ふたを閉めて、「カチッ」と音がするまで、しっかりと押してください。
- まぶし運転を行ない、処理運転の準備を自動的に行ないます。
- 処理開始時間になったら処理運転を開始します。処理運転開始までは、いつでも生ごみを投入できます。
- 「ふたロックつまみ」を右方向(ロック)に動かしてロックしてください。



ご注意

- ふたが閉まっていないと、処理開始時間になっても処理開始しません。
- 表示窓にC1、C2、C3、C4、F0、F1、F2、F3の表示が出る場合は運転できません。☞ 19

■ご自分の生活スタイルに合わせ、1日の内でいつ処理運転するのが都合がよいのかを決めて予約すれば、毎日その時間に自動的に処理運転を開始することができます。深夜電力※なら電気代がさらにお得です。
※時間帯別電灯契約で、深夜電力時間帯使用の場合(契約内容は電力会社にお問い合わせください。)

■予約した処理運転が始まるまでの間は、ふたを閉める毎に約5分間の「まぶし運転」を行ないます。
予約した処理運転が開始するまでは、いつでもごみ箱感覚で生ごみを投入できます。



ふたの開閉（生ごみ投入）　ふたの開閉（生ごみ投入）

予約時間になると高温処理運転開始

1日に1回のまとめ処理なので、経済的

●予約運転の設定をしないとふたの開閉のたびに処理運転をします。

●まぶし運転は、高温バイオ剤と新しい生ごみを混ぜ合わせる工程です。バイオ菌が生ごみを処理しやすいようにするためと、ニオイの拡散防止のために行います。この間は、かくはん棒の回転のみ行い、処理運転は行いません。

■処理運転が開始されると、自動的に脱臭運転も始まります。ニオイが気になる場合は、強力脱臭を設定してください。☞ 14
約5分間のまぶし運転中は、脱臭運転を行いません。

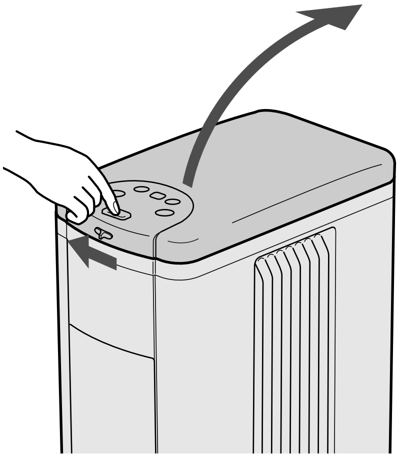
■運転コースは、(運転切換) ボタンで一度選択すると、毎回同じコースで処理運転を行います。生ごみの量によって、運転コースを選んでください。
また、運転コースはいつでも切り替え可能です。

使いかた (2)予約設定なしですぐ使う場合

(表示窓は 00 になっていることを確認してください)

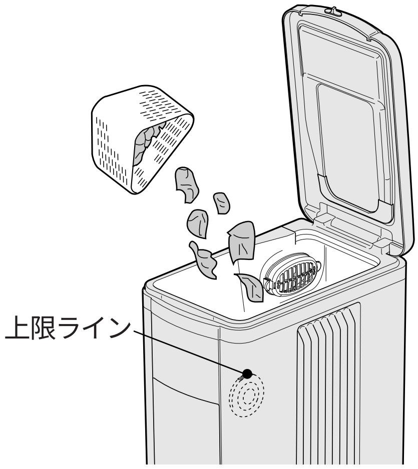
1 ふたを開ける

「ふたロックつまみ」を左方向(解除)に動かし、オープンボタンを押して、ふたを開け、生ごみを投入します。



- 表示窓が 00 になっていないときは、取消 ボタンを押して 00 にしてから、ふたを開けてください。

2 生ごみを投入する



ご注意

- 処理物が上限ライン付近まで増えてきた場合は、処理物の取出運転を行ってください。 ☞ 14、15

3 ふたを閉めて運転する

ふたを閉めて、「カチッ」と音がするまで、しっかりと押してください。処理運転が開始します。

- 「ふたロックつまみ」を右方向(ロック)に動かしてロックしてください。



ご注意

- ふたを閉めないと処理運転しません。
- 表示窓にC1、C2、C3、C4、F0、F1、F2、F3の表示が出る場合は運転できません。 ☞ 19

■生ごみの処理が終了したあと、ときどき処理槽内の処理物の状態をチェックしてください。
- 処理物が水っぽくべとべとした状態のときは、「乾燥」運転を行い、処理物をさらさらにしてください。
  「乾燥」運転後、処理物がまださらさらしていないときは、もう一度「乾燥」運転を行ってください。
- いつもべたつきやすい場合は、一つ上の運転コースを使用してください。

■処理運転中にふたを開けると、蒸気やニオイが広がりますので、途中でふたを開けないでください。

■排気口からの排気風や、周囲の空気の巻き込みなどにより、床や壁を汚す場合があります。
ときどき、周囲の床や壁を掃除してください。

■使用とともに、処理槽内が汚れてきますので掃除をしてください。 ☞ 16、17

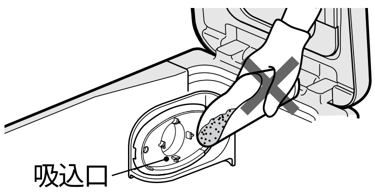
■処理運転が終了したあと、ふたの裏や処理槽上部が結露していますが、問題はありません。
気になる場合は、ふきんなどでふいてください。 ☞ 16、17

■排気フィルターの目詰まりおよび汚れている場合は、掃除してください。
処理運転15回ごとに排気フィルターのお掃除サイン「C3」が点滅し、ふたを開けるとブザーでお知らせします。
☞ 16

■毎日生ごみを処理していくと、処理物が増えてきます。
処理物が上限ライン(赤いシール部)付近まで増えてきた場合は、取出運転を行ってください。 ☞ 4、14、15

ご注意

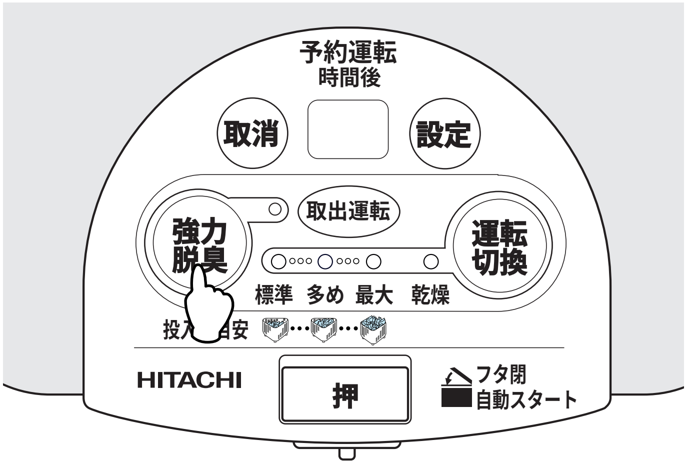
- **処理運転途中でふたを開閉すると、その時点からセットした運転コース(「標準」「多め」「最大」)の運転が再度行われます。**
- **吸込口に処理物を故意に入れないでください。故障の原因になります。**



強力脱臭運転 ―

(ニオイが気になるとき)

1 強力脱臭運転を開始する場合、「強力脱臭」ボタンを押す



● ニオイが気になるときに 強力脱臭 ボタンを押してください。
「強力脱臭」が設定され、ランプが点灯します。
もう一度ボタンを押すと解除されます。

ご注意

● 脱臭装置は、処理運転中の排気のニオイを脱臭する装置です。ふたを開けたときに感じる、処理槽の中の処理物や生ごみのニオイを取るものではありません。

● ニオイの成分の種類や濃度によっては、脱臭運転してもニオイが完全に取れない場合があります。例えば、多量の魚介類や残飯などを投入したときの強いニオイは、取り切れない場合があります。
この場合は処理槽の中の処理物を全部取り出して、新しい高温バイオ剤を投入してください。☞ 7、24

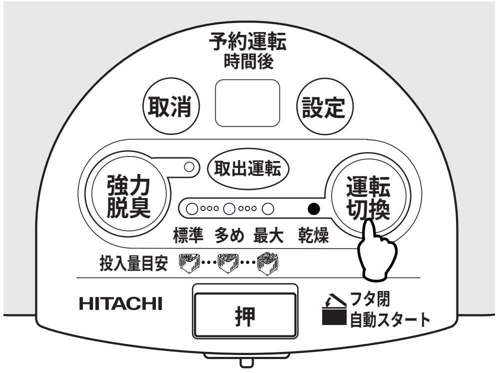
● ご使用はじめの処理運転中に、オイルが焼けるようなニオイが発生しますが、故障ではありません。
脱臭装置の金属部品や断熱材が加熱されたとき、初期にのみ発生するニオイです。このニオイは、2～3日のご使用でなくなります。
気になる場合は換気してください。

● ごはん類やめん類などのでんぷん質を一度に多く入れると、強いニオイが出る原因になります。

処理物の

(上限ラインに達したら

1 取出す前に「乾燥」運転を行う



① 取消 ボタンを押して表示を 00 にします。

② 運転切換 ボタンで「乾燥」に切り換えます。

③ ふたの開閉を行います。

これで約13時間の乾燥運転が始まります。

ご注意

必ずふたの開閉を行ってください。ふたを開閉しないと、乾燥運転が始まりません。

■処理槽内の処理物の状態がさらさらのときは､「乾燥」運転の必要はありません。このまま取出運転を行ってください。

■「乾燥」運転後、処理物がまださらさらしていないときは、もう一度「乾燥」運転を行ってください。

取出運転のしかた

取出運転を行う）

2 ポリバケツを用意し、取出口のシャッターを開く

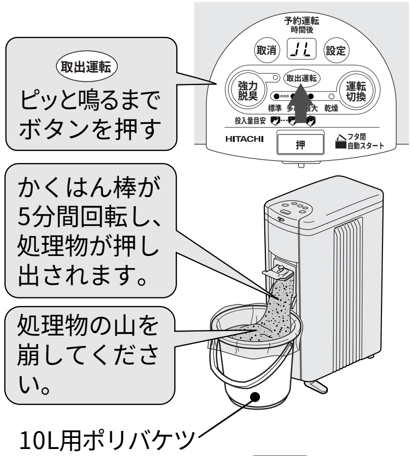
● 化粧パネルを外します。☞4



取出口ロックつまみを引上げて
ロックを外し、シャッターが
止まる位置まで開きます。

● シャッターのロックが外れると、
表示は JL を示します。☞10

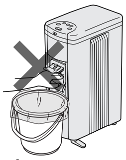
3 「取出運転」ボタンをピッと鳴るまで押す



● 取出運転中の表示は JL で点滅
します。

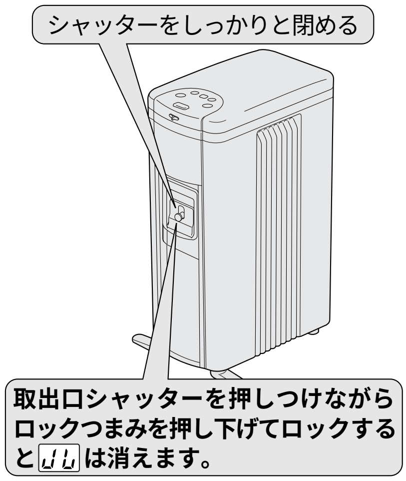
⚠ 警　告

処理物の取出運
転中は絶対に取
出口の中に手な
どを入れない



● けがの原因になります。

4 シャッターを閉じ、化粧パネルをセットする



取出口シャッターを押しつけながら
ロックつまみを押し下げてロックする
と JL は消えます。

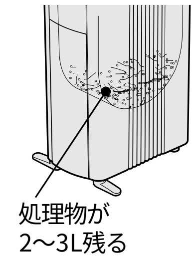
● 化粧パネルを取り付けます。☞5

ご注意

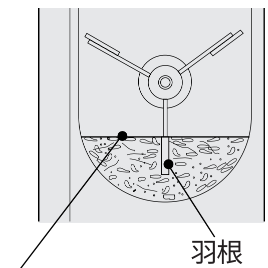
● シャッターを正しくロックしない
と運転できず、処理物がもれて、
床を汚す原因になります。
● 取出口付近は、きれいに掃除して
ください。シャッターを正しくロ
ックしても、処理物がもれて床を
汚す原因になります。

■取出運転は、約5分間行われます。取出しを終了するとブザーが鳴って止まります。

■取出運転後、処理槽内には約2～3Lの処理物が残るように設定されています。
これは次の処理のための高温バイオ菌を残すためです。



■取出運転を途中で止めたいときは
（取出運転）ボタンを押します。ピッとブザーが鳴って止まります。
再び押すとピッとブザーが鳴って残りの時間だけ運転します。
取出運転中にふたを開けると(→このときの表示は LJ)、一時的に停止し、
閉じると残りの時間だけ運転します。



（中央のかくはん棒を真下にしたとき、
羽根がかくれるくらい処理物がある
ときは、残りの量が多いと判断する。）

■処理物の状態によって、押し出されるスピードが異なります。
1回の取出運転で処理物が出し切れず、残り量が多い場合(約3L以上)は、
もう1度取出運転を繰り返してください。

■取出運転中に、取出口につもった処理物の山を
スコップで崩してください。
山につかえてスムーズに排出できません。
また、ポリバケツからあふれて、床にこぼれる
原因になります。



お手入れとお願い

警告

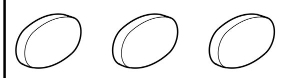
処理槽の中に手を入れるときは、必ず電源プラグを抜く。また、ぬれた手で抜き差ししない。
- 感電やけがをすることがあります。

本体各部に直接水をかけない。また、処理槽の内部は絶対に水洗いしない。
- 感電や漏電による火災の恐れがあります。

ご注意

- 乾いた布やブラシ、たわしなどでこすったり、クレンザー、ワックスなどで磨いたりしないでください。
  光沢をなくし、変色する原因になります。
- 化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書きに従ってください。

付属品

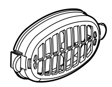


内フィルター(3個)

付属品の内フィルターは、投入される生ごみの種類や、生ごみの量が極端に少ない場合、処理槽内の処理物が粉じん状になり、排気経路に詰まることを防ぐフィルターです。内フィルターを取り付けないで運転しますと故障の原因となります。必ず取り付けた状態でご使用してください。
(あらかじめ本体に1個取り付けてあります。同梱の2個は交換用です。)

排気フィルターと内フィルターのお掃除のしかた (処理運転5回に1回のお掃除が目安です。)

内フィルターが、目詰りしますと運転表示窓に、排気フィルターお掃除サイン「C3」が、点滅表示します。また、ふたを開けるとブザーでお知らせします。
排気フィルターお掃除サイン「C3」は、フィルターの目詰りを検知した場合のほかに、処理運転15回ごとに定期的に表示します。
排気フィルターの汚れがひどく、水洗いしても落ちない場合や破損した場合は、付属の排気フィルターと交換してください。

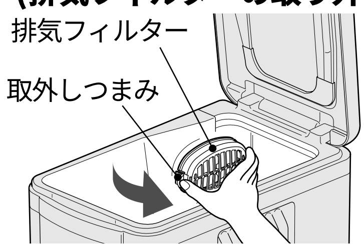


排気フィルター

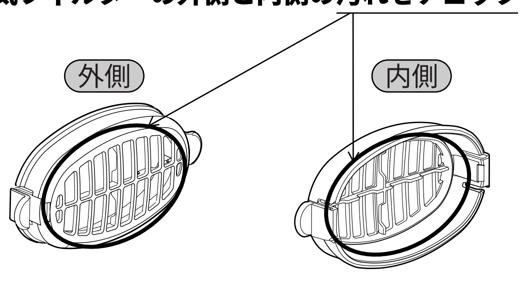
(1)排気フィルターを取り外します。

排気フィルターの取外しつまみに親指をかけて、手前(矢印の方向)に引いて外してください。

(排気フィルターの取り外し)

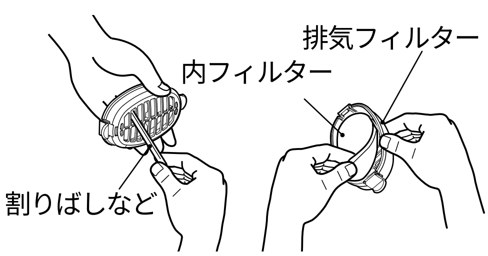


(2)排気フィルターの外側と内側の汚れをチェックしてください。



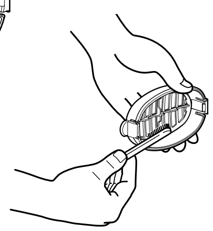
(内フィルターの取り外し)

排気フィルターのスリットから、細い棒(割りばしなど)を差し込み、内フィルターを取り外します。



(3)汚れている場合は、お手持ちの歯ブラシなどで掃除してください。

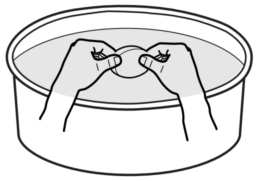
汚れがひどい場合は、水洗いしてください。



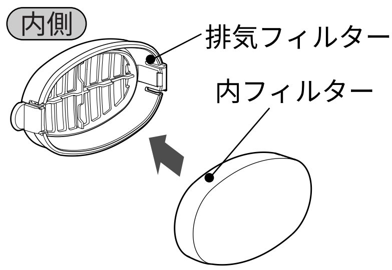
(4)内フィルターは、水の中で押し洗いしてください。

お願い

- 内フィルターは消耗品です。汚れがひどく、水洗いしても落ちない場合や、変形、破損、紛失したときは、付属品の内フィルターと交換してください。
- 内フィルターは洗濯機で洗ったり、ヘアードライヤーで乾燥させないでください。内フィルターが縮み、粉じんがもれて故障の原因になる恐れがあります。

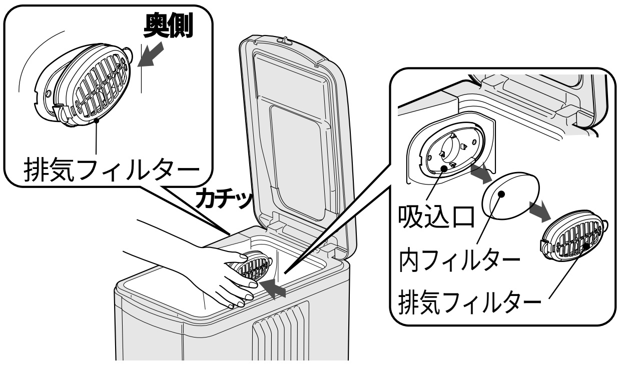


(内フィルターの取り付け)



(5)内フィルターを排気フィルターに取り付けます。

(6)**排気フィルターを元通りに取り付けます。**
取り付けるときは、排気フィルターの奥側を先に取り付けてから、「カチッ」と音がするまでしっかりと押してください。その後、外れないことを確認してください。
- **排気フィルターを正しく取り付けないと、処理運転中に外れて破損してしまう原因になります。**
- **排気フィルターを取り付け忘れると、処理物が吸込口に入り込み、故障の原因になります。**



注意

排気フィルターと内フィルターは確実に取り付ける。
- 正しく取り付けないと、処理物が吸込口から本体内へ入り込み、故障の原因になります。

お願い
- 内フィルターは消耗品です。
付属の内フィルターを紛失または破損したときは、日立の家電品取扱店でお求めください。
内フィルターセットB(部品番号 BGD-V18 016) 希望小売価格 315円 (税抜 300円)

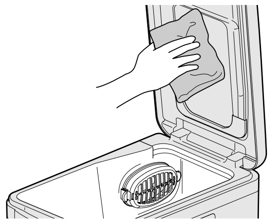
処理物のこびりつき落とし

■毎日生ごみを処理していくと、処理槽の内面に処理物がこびりつきます。
このようなときは、付属のスコップでかき落としてください。
また、排気フィルターカバーと排気フィルターの間に処理物がこびりつく場合があります。
排気フィルターを正しく取り付けられない原因になりますので、こまめに掃除してください。



処理槽上面の汚れ、結露水のお手入れ

■毎日生ごみを処理していくと、処理槽上面がこぼれた生ごみなどで汚れてきます。
処理槽内の蒸気やニオイの漏れを防ぐパッキンの働きを低下させる原因になりますので、ティッシュペーパー、やわらかい布などで掃除してください。



■処理終了後、ふたの裏や処理槽内上部に結露水が付着しますが、異常ではありません。気になる場合は、ティッシュペーパー、やわらかい布などでふき取ってください。

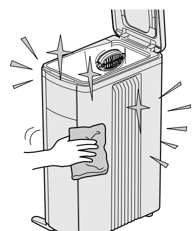


処理槽内、処理物の量の調節

■処理物が増えると、内面の汚れや処理物のべたつき、またはかくはん停止の原因になります。
処理物が、目安となる上限ライン付近(赤いシール部)まで増えてきたときは、取り出してください。☞14、15
- 取出し運転をする前に、「乾燥」運転を行うと、取出し運転がしやすく、また、取り出した処理物が保管しやすくなります。
- 少量の場合は、付属のスコップで取り出してください。

本体のお手入れ

■本体の汚れは、水または中性洗剤を含ませたやわらかい布でふき取ってください。



取り出した処理物を有機肥料として利用する方法

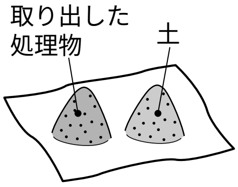
有機肥料（堆肥）として再利用する場合は以下の手順に従ってください。取り出した処理物は、そのままでは有機肥料（堆肥）として利用できません。
有機肥料（堆肥）として利用しない場合は、可燃ごみとして廃棄処分してください。

お願い

■処理物がべたついているときは、乾燥運転を行い、さらさらにしてから取り出してください。

1　土と混ぜて利用する場合

(1)取り出した処理物と土を、おおよそ1：1の割合で混ぜ合わせます。



(2)湿らす程度に、じょうろで水をかけます。



ご注意

水をかけすぎて、べとつかせるとニオイの原因となります。必ず、かるく湿らせる程度にしてください。

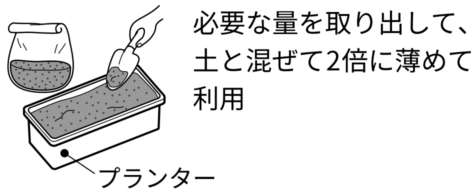
(3)ビニール袋に入れ、雨ざらしにならない日陰で風通しのよい場所に、約1〜2ヶ月保管します。



ご注意

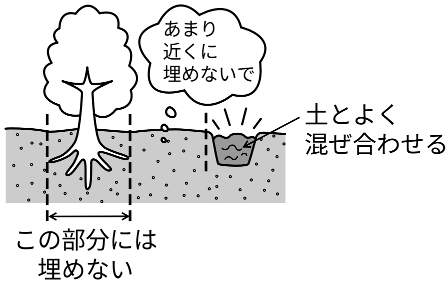
処理物を雨にさらしたり、水をかけすぎると、汚泥状になり、未分解の有機物が腐敗して、強いニオイがしたり虫が湧いたりします。
このような状態になった場合は、土と混ぜて水分を調整して保管するか、燃えるごみとして廃棄してください。

(4)利用するときは、必要な量を取り出して土に混ぜて、2倍に薄めて利用します。



2　直接庭などに埋める場合

植物の根付近を避けて埋めてください。
根ぐされなどで植物が枯れる恐れがあります。



■保管中に白いカビがはえてくる場合があります。白いカビは堆肥へ分解される過程で生じるものですので問題ありません。保管中に時々よく混ぜると分解が早くなります。
■未熟の処理物のままで植物に与えますと、土壌中で植物に有害なガスの発生、植物必須成分である窒素の欠乏、植物に有害な病原菌の増殖などで、植物の発芽や生育が阻害される場合がありますので、正しくご利用ください。
■処理物からできた有機肥料（堆肥）は、弱酸性です。植物に合った土づくりや肥料づくりをすることをおすすめします。

運転表示窓にこの表示がでたときは

■次の表示がでたときは、下表にしたがって確認をおこない、直してください。

表示内容	お知らせ内容	確認するところ	直しかた
C1 が点滅 (かくはんロックサイン)	回転軸がロックしています。(回転軸が回転できません)	固くて大きい生ごみや、繊維質状の生ごみ、ジャムなど糖分の多い生ごみを大量に投入しませんでしたか。	次ページの C1 が点滅したときの処置のしかたを参照し、かくはんを妨げている原因を取り除いてください。☞20
C2 が点滅 (シャッターロック確認サイン)	取出口シャッターが開いています。 (10分間以上開いています)	●取出口シャッターが開いていませんか。 ●ロックつまみが上がっていませんか。	取出口シャッターを閉じて、ロックつまみを押し下げて確実にロックしてください。☞15
C3 が点滅 (フィルターお掃除サイン)	●処理回数15回ごとのフィルターお掃除のお知らせです。 ●排気の目詰まりを検知しました。	排気フィルターと内フィルタを点検してください。	汚れていましたら、排気フィルターと内フィルターのお掃除のしかたを参照し、排気フィルターと内フィルターを掃除してください。☞16
※処理運転中に「C3」と「11」(処理運転中)が交互に表示する場合があります。 運転中にふたを開けますと、熱い蒸気やニオイが広がりますので、必ず、処理終了後(「C3」のみ点滅したら)排気フィルターの汚れを点検してください。			
C4 が点滅 (脱臭異常温度検知サイン)	脱臭装置が異常過熱しています。	アルコール類を含んだ生ごみを投入しませんでしたか。	再度処理運転を行い、再度表示が出たら、処理槽の中の処理物を全部取り出して、新しい高温バイオ剤を投入してください。
●C1 ～C4 が表示されてから、再度処理運転を行うときは、2回ふたの開閉を行ってください。1回ふたの開閉を行うと、表示窓は 00 になります。もう1回ふたを開閉すると 11 になり、処理運転が開始されます。 ●上記の「直しかた」を行っても正常にならない場合は、修理が必要な可能性があります。 お買い上げの販売店にご相談ください。			

■次の表示がでたときは、下表にしたがって確認してください。

表示内容	お知らせ内容	確認のしかた
F0 が点滅	処理槽またはふたの温度センサーが範囲外の値を検知しました。	電源プラグを抜いて、再度差し込み、処理運転を開始させてください。 再度同様の表示がでた場合は電源プラグを抜き、修理を依頼してください。☞23
F1 が点滅	●脱臭装置の温度センサーが範囲外の値を検知しました。 ●脱臭装置の温度が所定の温度まで上がりません。	
F2 が点滅	処理槽の温度が所定の温度まで上がりません。	
F3 が点滅	●排気ファンが動いていません。 ●排気経路が詰っています。 ●排気フィルターや内フィルターが極度に目詰りしています。	電源プラグを抜き、排気フィルターと内フィルターを点検し、目詰りしていたら掃除をしてください。☞16 掃除後、電源プラグを差し込み処理運転をしてください。再度 F3 または C3 の表示がでた場合は、電源プラグを抜き、修理を依頼をしてください。☞23

運転表示窓にこの表示がでたときは(続き)

[- -] の点滅のときは

- 留守対応機能の動作中です。
- 留守対応機能は、3日間以上ふたを開閉しない場合に自動的に動作します。
  動作は2日に1回、2時間だけ処理運転を行います。
- ふたを開閉すると、留守対応機能は解除され、生ごみを投入することができます。
  また、「予約」を設定していた場合は、ふたを開閉すると、以前設定していた時間で処理運転を行うことができます。

[C1] が点滅したときの直しかた

■電源プラグを抜いてください。

■作業はけが防止のため手袋をご使用ください。

⚠ 警　告

処理槽の中に手を入れるときは、必ず電源プラグを抜く
また、ぬれた手で抜き差ししない

- 感電やけがをすることがあります。

① ポリバケツと付属のスコップを用意します。

② 電源プラグを抜いてください。([C1] の表示が消えます)
次に、スコップで処理物を回転軸より低くなるまで取り出してください。そして、固定刃付近やかくはん棒に硬い物や繊維質状の生ごみが挟まっている場合は、取り除いてください。
処理物が固まってしまった場合は、処理槽の中の処理物を全部取り出して新しい高温バイオ剤を投入してください。

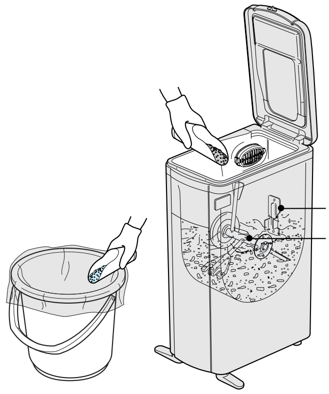
③ ふたを閉めて、電源プラグを差し込みます。

④ 処理運転 [-/ /-] が始まります。

⑤ しばらくして、再び [C1] を表示した場合は、まだ回転を妨げる物が完全に取り除かれていないので、もう一度作業を繰り返して、処理物を取り出してください。

⑥ 取り出した処理物は、有機肥料として利用するか、可燃ごみとして出してください。

- 上記を行っても正常にならない場合は、修理が必要な可能性があります。
  お買い上げの販売店にご相談ください。



アース線の取り付け

⚠ 警　告

アース線は確実に取り付ける。

アース接続

- アース線を取り付けないと漏電のとき感電することがあります。
  アースの取り付けは、必ず電気工事店または販売店にご相談ください。

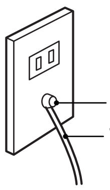
(電気工事士の有資格者がD種(第3種)接地工事をするよう、法令で定められています。)

■アース線は確実に取り付けてください。

- 万一の漏電時の感電事故を防ぐためです。また、漏電遮断器の取り付けもお勧めします。
- アース線を取り付けるときは、電源プラグをコンセントから抜いた状態で接続してください。
- 設置場所の変更や転居の際には、アースの取り付けを必ず行ってください。

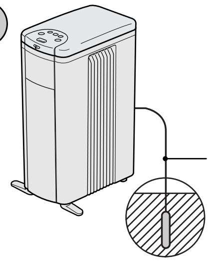
アース端子がある場合

アース線をアース端子に確実に接続してください。



アース端子がない場合

アース工事をしてください。



ご注意

次のようなところには、アース線を接続しないでください。ガス火災や感電死の恐れがあり大変危険です。

- ガス管、電話線、避雷針、水栓
  水道管は途中から塩ビ管になっているところが多いため避けてください。

故障かなと思ったら

修理を依頼される前に　次の点をもう一度お調べください

現　象	確認するところ	直しかた
かくはん運転しない	●電源プラグはコンセントにきちんと差し込まれていますか。 ●ふたはきちんと閉まっていますか。 ●取出口シャッターはロックしていますか。 （表示窓の表示が dL になっていませんか。）	●電源プラグをコンセントにしっかり差し込んでください。 ●ふたを「カチッ」と音がするまでしっかりと閉めてください。 ●取出口シャッターのロックをしてください。 正しくロックすると dL は消えます。☞15
ニオイが強い	●使い始めですか。 ●処理槽内の処理物がべたついていませんか。 ●ニオイの強い生ごみを投入しませんでしたか。 ●処理槽の上面やふたパッキンにごみが付着していませんか。 ●据え付け場所の通気が悪くありませんか。	●使用開始初期の処理運転中にオイルの焼けるようなニオイが発生します。このニオイは2〜3日の使用でなくなります。 気になる場合は、換気してください。 ●処理物に水分が過剰な状態です。 「乾燥」運転を行ない、処理物をさらさらにしてください。☞11 排気フィルターが汚れている場合は、掃除してください。☞16､17 ●処理槽内の処理物に強いニオイがついています。取出運転で処理物を取り出してください。☞14､15 ●ごみを取り除いてください。☞16､17 ●生ごみ処理中の排気は水蒸気や多少のニオイがあり、こもると強く感じることがあります。ときどき換気してください。 ●据え付け場所を移動してください。☞6
処理槽の内壁に処理物がこびりついたり、汚れる	●生ごみの投入量は守っていますか。 ●処理物が増えていませんか。	●使用とともに多少処理槽内が汚れてきます。気になる場合は掃除をしてください。異常ではありません。☞16､17 ●生ごみの投入量を守ってください。☞11 ●上限ライン付近に達したら必ず取出し運転を行ってください。☞4、14､15
異常音が出る	●処理槽内に大きな生ごみや硬い生ごみが入っていませんか。	●取り除いてください。 ●かくはん棒と固定刃の間で生ごみを破砕させるため、多少「ゴトン」という音が出ることがありますが故障ではありません。 ●硬い梅干しの種や桃の種が入ると大きな音がする場合がありますので投入しないでください。

故障かなと思ったら(続き)

現　象	確認するところ	直しかた
処理槽内の処理物がべたついてきた	●きちんと生ごみの水を切っていますか。	●水をよく切って投入してください。
	●投入する生ごみ量が多くないですか。 また、投入する生ごみの量と運転コースはあっていますか。	●「乾燥」に合わせて、乾燥運転を行ったあと、生ごみの投入量を守ってください。☞11 「最大」コースで1.3kg以下です。 (週の平均投入量が1日1.3kgを超えなければ、週1回に限り1.8kgの投入が可能です) 11ページの運転コースの切り換えを参照して、生ごみの量にあった運転コースに切り替えてください。
	●排気フィルターが目詰まりしていませんか。	●排気フィルターを掃除してください。☞16、17
運転中の騒音が大きい	●床がひびいていませんか。	●床面と共振する場合があります。 別売りのクッションゴム脚を利用してみてください。☞24

保証とアフターサービス(必ずお読みください)

保証書(別添)

保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」などの記入をお確かめのうえ、販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みのあと、大切に保存してください。

保　証　期　間
お買い上げの日から1年です。

補修用性能部品の保有期間

当社は、この生ごみ処理機の補修用性能部品を製造打ち切り後6年間保有しています。
補修用性能部品とは、その商品の機能を維持するために必要な部品です。

転居されるとき

ご転居により、お買い上げの販売店のアフターサービスを受けられなくなる場合は、前もって販売店にご相談ください。ご転居先での日立の家電品取扱店を紹介させていただきます。

ご不明な点や修理に関するご相談は

修理に関するご相談ならびにご不明な点は、お買い上げの販売店または「ご相談窓口」にお問い合わせください。☞23

修理を依頼されるときは　出張修理

21～22ページに従って調べていただき、なお異常のあるときは、ご使用を中止し、必ず電源プラグを抜いてから、お買い上げの販売店にご連絡ください。

保証期間中は

修理に際しましては保証書をご提示ください。
保証書の規定に従って、販売店が修理させていただきます。

保証期間が過ぎているときは

修理して使用できる場合には、ご希望により修理させていただきます。

ご連絡していただきたい内容

品　　名	家庭用バイオ式生ごみ処理機
形　　式	BGD-V18
お買い上げ日	年　　月　　日
故障の状況	できるだけ具体的に
ご　住　所	付近の目印なども併せてお知らせください。
お　名　前	
電話番号	
訪問ご希望日	

修理料金のしくみ

技術料	診断、部品交換、調整、修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。技術者の人件費、技術教育費、測定機器などの設備費、一般管理費などが含まれてます。

＋

部品代	修理に使用した部品代金です。その他修理に付帯する部材などを含む場合もあります。

＋

出張料	商品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。別途、駐車料金をいただく場合があります。

保証とアフターサービス(必ずお読みください)(続き)

一般家庭用以外でご使用になるとき

食堂や寮、レストランなどでご使用になり、大量の生ごみを投入したり、一日の使用時間が一般家庭に比べて極端に長い場合には、短時間で部品の交換が必要になることがあります。
お買い上げの販売店にご相談のうえ、定期的な点検を受けてお使いになることをお勧めします。
- **このようなご使用は、保証期間の対象外となります。**

愛情点検　**★長年ご使用の生ごみ処理機の点検を**

ご使用の際、このような症状はありませんか?		ご使用中止	
ご使用の際、このような症状はありませんか?	●電源プラグをコンセントに入れても時々運転しないことがある。 ●コードを折り曲げると、通電したり、しなかったりする。 ●運転中、異常な音がする。 ●本体ケースが変形していたり、異常に熱い。 ●焦げた“におい”がする。 ●本体に触るとビリビリ電気を感じる。 ●その他、異常・故障があるとき。	**ご使用中止**	このような症状のときは、故障や事故防止のため、コンセントから電源プラグを抜いて必ず販売店に点検・修理をご相談ください。

日立家電品についてのご相談や修理はお買上げの販売店へ

なお、転居されたり、贈物でいただいたものの修理などで、ご不明な点は下記窓口にご相談ください。

修理などアフターサービスに関するご相談は
エコーセンターへ

TEL　0120-3121-68
FAX　0120-3121-87

(受付時間)
9:00～19:00(365日)

商品情報やお取り扱いについてのご相談は
お客様相談センターへ

TEL　0120-3121-11
FAX　0120-3121-34

(受付時間) 9:00～17:30 (月～土)、9:00～17:00 (日・祝日)
年末年始は休ませていただきます。
携帯電話、PHSからもご利用できます。

- 「持込修理」および「部品購入」については、上記サービス窓口にて各地区のサービスセンターをご紹介させていただきます。
- お客様が弊社にお電話でご連絡いただいた場合には、正確にご回答するために、通話内容を記録(録音など)させていただくことがあります。
- ご相談、ご依頼いただいた内容によっては弊社のグループ会社に個人情報を提供し対応させていただくことがあります。
- 修理をご依頼いただいたお客様へ、アフターサービスに関するアンケートはがきを送付させていただくことがあります。

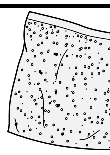
仕様

形名	BGD-V18
電源	AC100V　50/60Hz共用
定格消費電力	最大 490W
外形寸法	幅218 × 奥行375 × 高さ590mm
質量	本体　約12kg
最大処理量	約1.3kg/1日（週1回1.8kg）
周囲温度	－10℃～40℃

別売り部品

日立の家電品取扱店でお求めください。

■高温バイオ剤(BG-CX20) (1袋 約1.5L)



当社指定の高温バイオ剤以外をご使用になった場合は、生ごみ処理機の性能など品質を保証できませんのでご留意ください。

- 子供の手が届かない場所・直射日光の当たらない場所に保存してください。

希望小売価格
1,680円 (税抜 1,600円)

■内フィルターセットB (部品番号 BGD-V18 016)

- 内フィルターは、消耗品です。
- 投入される生ごみの種類や、生ごみの量が極端に少ない場合、処理槽内の処理物が粉じん状になり、排気経路に詰まることを防ぐフィルターです。

2種類のフィルターが入っています。
だ円形 内フィルター(4個)
丸形 内フィルター(5個)

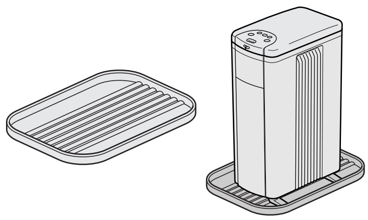
希望小売価格
315円 (税抜 300円)

■トレイ(BG-T1)

- 生ごみを処理したときに発生する本体底面からの水蒸気や熱が直接床面に接触するのを防ぎます。
  また、床面がじゅうたんの場合、排気による変質・変色を抑制することができます。

ご注意

梱包袋から取り出したときに、多少歪んでいるものがあります。
保管・輸送中にできる軽い変形であり、床面に置いたときには水平になりますので、使用上にさしつかえありませんので、そのままご使用ください。

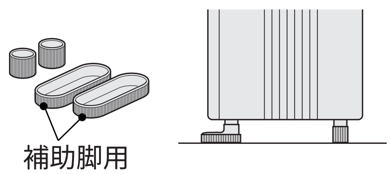


希望小売価格
1,785円 (税抜 1,700円)

■クッションゴム脚(BG-GF1)

本体脚用・・・・・2個
補助脚用・・・・・2個

- 生ごみ処理機を運転すると、内部の回転機構部において発生する振動が、本体底部の脚部を通じて、据え付け場所の床面に伝わります。床の構造によっては共振して騒音が大きくなる場合があります。このとき「クッションゴム脚」を用いると、騒音を軽減することができます。



ご注意

- 床の材質によっては、騒音低減の効果がでない場合があります。

希望小売価格
1,260円 (税抜 1,200円)

価格は、2007年11月現在の消費税率を基に総額表示を行ってます。

日立アプライアンス株式会社
〒105-8410　東京都港区西新橋2-15-12
電話（03)3502-2111